

1. 研究課題名

当院における新型コロナウイルス感染母体から出生した新生児の栄養法

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、赤ちゃんにやさしい病院である当院において、新型コロナウイルスに感染した母親から出生した児の栄養法を振り返ることで、隔離が必要となる児の母乳率の現状を把握し、今後同様なパンデミック下において、母乳育児を推進する対応策を考える目的としています。

研究期間は承認日から 2024 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は 2019 年 12 月から 2022 年 10 月の間、新型コロナウイルスに感染した母親から出生した新生児およびその母親の診療記録を利用して行います。利用する情報は、性別、年齢、在胎週数、出生体重、医療行為の有無、治療法、隔離期間、栄養開始時・隔離解除時・退院時・1 か月時の栄養法などで、利用を開始するのは、本研究が承認された以降です。ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 新生児科 細川未来 (研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 新生児科 細川未来